# 閒野英二博士著作目錄

## 著　　書

『西域』（羽田明，山田信夫，小谷仲男と共著）　河出書房新社　1969年
文庫版復刻　河出文庫　河出書房　1989年
『中央アジアの歴史――草原とオアシスの世界』（新書東洋史８）
講談社　1977年
『内陸アジア』（地域からの世界史６）（中見立夫，堀直，小松久男と共著）　朝日新聞社　1992年
『バーブル・ナーマの研究　Ⅰ　校訂本』　松香堂　1995年
『バーブル・ナーマの研究　Ⅱ　總索引』　松香堂　1996年
『バーブル・ナーマの研究　Ⅲ　譯注』　松香堂　1998年
『バーブル・ナーマの研究　Ⅳ　研究篇　バーブルとその時代』
松香堂　2001年

## 編　　書

『五體清文鑑譯解』上卷（田村實造，今西春秋，佐藤長らと共編）
京都大學文學部內陸アジア研究所　1966年
『五體清文鑑譯解』下卷（田村實造，今西春秋，佐藤長らと共編）
京都大學文學部內陸アジア研究所　1968年
『明代西域史料　明實錄抄』（羽田明らと共編）
京都大學文學部內陸アジア研究所　1974年
『週刊朝日百科　世界の歴史』（阿部謹也らと共編）
朝日新聞社　1988年―1991年
『トルコ・イスラーム時代中央アジア文化の總合的研究（文部省科學研究費研究成果報告書）』　1997年
『中央アジア史』（アジアの歴史と文化８）（責任編集）　同朋舎　1999年
『西アジア史』（アジアの歴史と文化９）（責任編集）　同朋舎　2000年
『新イスラム事典』（佐藤次高，三浦徹らと共編）　平凡社　2002年

## 論　　説

十五世紀初頭のモグーリスターン——ヴァイス汗の時代——
『東洋史研究』23—1　1964年

モグーリスターン遊牧社會史序說　『西南アジア研究』17　1966年

中央アジアのイスラム化　『イスラム化に關する共同研究報告　續』
東京外國語大學アジア・アフリカ言語文化研究所　1969年

ティムール朝の社會　『岩波講座　世界歷史』8　岩波書店　1969年

アミール・ティムール・キュレゲン——ティムール家の系譜とティムールの立場——　『東洋史研究』34—4　1976年

ティムール朝における一貴顯の系譜——Chākū Barlās 家の場合——
『オリエント』20—1　1977年

中央アジア史とシルクロード——シルクロード史觀との訣別——
『朝日アジアレビュー』33　1978年

Moghūlistān　*Acta Asiatica* 34　1978年

ナクシュバンディー教團に關する覺書(1)『中東の社會變化とイスラムに關する總合的研究：報告と討論の記錄』　國立民族學博物館　1980年

バーブルとヘラート　『オリエント』23—2　1981年

『バーブル・ナーマ』の研究(1)　「フェルガーナ章日本語譯」
『京都大學文學部研究紀要』22　1983年

ナクシュバンディー教團に關する最近の諸研究について
『イスラム世界』21　1983年

トルキスタン　『アジア歷史研究入門』4　同朋舍出版　1984年

『バーブル・ナーマ』の研究(2)　「カーブル章日本語譯」
『京都大學文學部研究紀要』23　1984年

『クタドゥグ・ビリク』近刊譯本3種　『西南アジア研究』23　1984年

『ターリーヒ・ラシーディー』の史料について
『三笠宮殿下古稀記念オリエント學論集』　小學館　1985年

大谷探檢隊と『ターリーヒ・ラシーディー』『內陸アジア史研究』2　1985年

『バーブル・ナーマ』の研究(3)　A. S. ベヴァリッジとハイダラーバード寫本　『京都大學文學部研究紀要』24　1985年

『バーブル・ナーマ』の魅力(1)　『季刊東西交渉』4—4　1985年

『バーブル・ナーマ』の魅力(2)　『季刊東西交渉』5—1　1986年

『バーブル・ナーマ』の魅力(3)　『季刊東西交渉』5—2　1986年

『14—16世紀中央アジア史研究』（京都大學提出學位請求論文）　1986年

バーブル・パーディシャーフとハイダル・ミールザー——その相互關係——　『東洋史研究』46—3　1987年

アブドゥシュクル・ムハンメド・イミン「中世ウイグル文化の百科事典『クタドゥグ・ビリク（福樂智慧）』」（李昌植と共譯）　『西南アジア研究』26　1987年

『バーブル・ナーマ』と『ターリーヒ・ラシーディー』——その相互關係——　『西南アジア研究』34　1991年

解題　羽田亨『西域文明史概論・西域文化史』　平凡社　1992年

內陸アジア史總論　『內陸アジア』（地域からの世界史6）　朝日新聞社　1992年

カーシュガリー『トルコ語辭典』に見える農業關係の語彙　『藤本勝次・加藤一朗兩先生古稀記念中近東文化史論叢』　藤本勝次・加藤一朗兩先生古稀記念會　1992年

The Babur-nama and the Tarikh-i Rashidi: Their Mutual Relationship, *Timurid Art and Culture: Iran and Central Asia in the Fifteenth Century*, eds. Lisa Golombek and Maria Subtelny, (Supplements to *Muqarnas*, Vol. VI), Leiden, 1992

チンギス・ハーンとティムール——その類似點と相違點——　『大モンゴル』　角川書店　1992年

Two Notes on the Genealogy of Moghūl Khāns in the Early 15th Century, *Journal of Turkish Studies*, Vol. 17, (Richard Nelson FryeFestschrift), Cambridge, Mass, 1993

The Original Title of the Memoirs of Babur, *Proceedings of the*

*35th Meeting of the Permanent International Altaistic Conference*, Taipei, 1993

The Weeping-willows Passage in the Bābur-nāma, *Proceedings of the 27th Meeting of the Haneda Memorial Hall: Symposium on the Central Asia and Iran*, Augest 30, 1993, Kyoto, 1994

『バーブル・ナーマ』の「枝垂れ柳の條」について

『東方學會創立五十周年記念東方學論集』 1996年

『ターリーヒ・ラシーディー』の一節に關わる校訂テキスト作成の試み 『トルコ・イスラーム時代中央アジア文化の總合的研究（文部省科學研究費研究成果報告書）』 1997年

テヘラン・サルタナティー圖書館所藏の『バーブル著作集』について

『東洋史研究』57—1 1998年

中央アジアのイスラーム化

『中央アジア史』（閒野英二編） 同朋舍 1999年

トルコ・イスラーム社會とトルコ・イスラーム文化

『中央アジア史』（閒野英二編） 同朋舍 1999年

The Collected Works of Bābur Preserved at the Salṭanatī Library in Tehran, *Memoirs of the Research Department of the Toyo Bunko (The Oriental Library)*, No. 57, 1999

ティムール帝國とヘラートの發展

『西アジア史』（閒野英二編） 同朋舍 2000年

『バーブル・ナーマ』校訂本作成に當たっての選擇の問題

『學術月報』53—11 2000年

Editorial Choices in preparing the Critical Edition of the *Bābur-nāma*, *Proceedings of the Symposium on Theoretical Approaches to the Transmission and Edition of Oriental Manuscripts*, Istanbul, 2002 (In Press)

ホージャ・アフラールの著作『ワーリディーヤ』のペルシア語原本に

ついて　『慶熙史學（劉共祚教授退官記念號）』　ソウル　2002年（印刷中）

## 書評・紹介

田坂興道『中國における回教の傳來とその弘通』（上下）
『東洋史研究』24―1　1965年

『大英博物館ペルシャ語寫本目錄』の再版　『東洋史研究』25―4　1967年

Beatrice Forbes Manz: The Rise and Rule of Tamerlane
『東洋史研究』49―4　1991年

デイヴィッド・モーガン著（杉山正明・大島淳子譯）『モンゴル帝國の歴史』　角川書店　1993年　『週刊讀書人』1983號（1993年5月17日號）

## 學界展望

北アジア――1967年の歴史學界　回顧と展望――
『史學雜誌』77―5　1968年

西アジア・北アフリカ――前近代――
『日本における歴史學の發達と現狀』（Ⅱ）　東京大學出版會　1976年

中央アジア――1982年の歴史學界　回顧と展望――
『史學雜誌』92―5　1983年

內陸アジア學――21世紀へ向けての東方學の展望――
『東方學』100　2000年

Prospects and Issues in Inner Asian Studies in Japan
『日本中東學會年報』17　2002年（印刷中）

## 研究者回想

山田先生とテニス
『人と人　山田信夫先生追悼文集』　山田信夫先生追悼紀念事業會　1989年

野尻湖畔での植村先生　後藤均平編『追想　植村清二』　草風館　1989年

羽田明先生を偲ぶ　『史林』73―2　1990年

羽田明先生と私　『東方學』80　1990年

東洋學の系譜　羽田亨　『しにか』2—2　1991年
最大の僥倖　『宮崎市定全集』月報10　岩波書店　1992年
羽田亨　江上波夫編『東洋學の系譜』　大修館書店　1992年
序　山田信夫著『天山のかなた』　山田先生著作刊行會　1994年
宮崎市定先生と西アジア研究　『西南アジア研究』36　1995年
宮崎先生と新人賞　『東洋史研究』54—4　1996年
安藤志朗君を偲ぶ　『以文』39　1996年
安藤君の凄さ　『安藤志朗博士を偲んで』　1997年
本田實信先生を偲んで　『オリエント』41—2　1998年
田村實造先生を偲ぶ　『東方學』98　1999年
藤枝先生と古ウイグル語の特訓　『藤枝晃』　自然文化研究會　2000年
先學を語る—宮崎市定（礪波護らとの座談會）　『東方學』100　2000年
宮崎市定の西アジアへの親近感
『京大東洋學の百年』　京都大學學術出版會　2002年（印刷中）

## 講演・研究發表要旨

ティムール家に關する—傳承について　『東洋史研究』33—3　1974年
イスラム時代中央アジア・トルコ語史料
『通信』55　東京外國語大學アジア・アフリカ言語文化研究所　1985年
バーブル・パーディシャーフとハイダル・ミールザー
『東洋史研究』45—3　1986年
ティムールのオルド
『通信』73　東京外國語大學アジア・アフリカ言語文化研究所　1991年
ソグド人の文化と通商活動
『たには（丹波）』16　古丹波研究會事務局　1992年
最近に於ける中央アジア研究の發展　『東方學會報』73　1997年

## そ の 他

クンドゥズからバルフまで　『西遊通信』3　1967年

編集後記　『東洋史研究總目錄　第１巻—第25巻』　東洋史研究會　1967年

チムール朝　『モンゴル帝國』　世界文化社　1969年

モンゴル世界帝國　『大學ゼミナール東洋史』法律文化社　1970年

14—16世紀中央アジア・トルコ民族史の研究

『第12回事業報告書　昭和49年度』　三島海雲記念財團　1975年

マホメットとイスラム　『圖說世界の歷史』２　學習研究社　1979年

最近のイラン情勢　『泊園』19　1980年

中東とイスラム　『ＡＢＣ通信』400　1980年

東西文化の接點　トルキスタンの變容

『週刊朝日百科　世界の地理』75　朝日新聞社　1985年

トルコ族の時代　ティムールとオスマン帝國

『週刊朝日百科　日本の歷史』22　朝日新聞社　1986年

乾燥地に根をはる農民

『週刊朝日百科　世界の歷史』１　朝日新聞社　1988年

オアシス國家と遊牧國家

『週刊朝日百科　世界の歷史』６　朝日新聞社　1988年

匈奴の支配と東西交流

『週刊朝日百科　世界の歷史』11　朝日新聞社　1989年

匈奴の分裂と鮮卑　『週刊朝日百科　世界の歷史』16　朝日新聞社　1989年

オアシスと佛教文化　『週刊朝日百科　世界の歷史』21　朝日新聞社　1989年

突厥とソグド人の“共存”

『週刊朝日百科　世界の歷史』26　朝日新聞社　1989年

綠のオアシス城郭都市　サマルカンド

『週刊朝日百科　世界の歷史』29　朝日新聞社　1989年

サマルカンドの客人たち

『週刊朝日百科　世界の歷史』29　朝日新聞社　1989年

諸民族のめまぐるしい攻防

『週刊朝日百科　世界の歷史』31　朝日新聞社　1989年

トルコ化とイスラーム化

『週刊朝日百科　世界の歴史』36　朝日新聞社　1992年

中央アジアの變質　サトゥク，ユースフ，カーシュガリー

『週刊朝日百科　世界の歴史』38　朝日新聞社　1989年

西ウイグルと西夏王國

『週刊朝日百科　世界の歴史』41　朝日新聞社　1989年

ホラズム・シャー朝の勃興

『週刊朝日百科　世界の歴史』46　朝日新聞社　1989年

草原の大帝國モンゴル

『週刊朝日百科　世界の歴史』51　朝日新聞社　1989年

ティムールの大帝國　『週刊朝日百科　世界の歴史』56　朝日新聞社　1989年

ティムール帝國の崩壞

『週刊朝日百科　世界の歴史』61　朝日新聞社　1990年

バーブル　『週刊朝日百科　世界の歴史』63　朝日新聞社　1990年

二つの文化圏の共存　『週刊朝日百科　世界の歴史』66　朝日新聞社　1990年

新しい國際貿易路の成立

『週刊朝日百科　世界の歴史』71　朝日新聞社　1990年

女眞族の清王朝　『週刊朝日百科　世界の歴史』76　朝日新聞社　1990年

ジュンガル王國の興亡

『週刊朝日百科　世界の歴史』81　朝日新聞社　1990年

チベット佛教の盛衰　『週刊朝日百科　世界の歴史』86　朝日新聞社　1990年

清朝の新疆支配　『週刊朝日百科　世界の歴史』91　朝日新聞社　1990年

ホーカンド商人の國家

『週刊朝日百科　世界の歴史』96　朝日新聞社　1990年

『安藤志朗博士を偲んで』（久保一之，谷口淳一と共編）

『安藤志朗博士を偲んで』編集委員會　1997年

總論　『中央アジア史』（閒野英二編）　同朋舍　1999年

前近代のイスラーム世界における「教養」

『新しい教養を拓く―文明の違いを越えて―』（岩波ブックレット483）　岩波書店　1999年

總論　『西アジア史』（間野英二編）　同朋舍　2000年

## 事典執筆項目

『イスラム事典』　平凡社　1982年

アンカラの戰，カラ・ハーン朝，サマルカンド，サーマーン朝，ジャマール・アッディーン，ティムール朝，ナクシュバンディー教團，ハザル族，ホジャ，ホラズム，マーワラーアンナフル，ヤサウィー教團

『大百科事典』　平凡社　1985年

アリー・シール・ナヴァーイー，アンカラの戰，オアシス（中央アジアの），オグズハン傳說，カシュガル，カラ・キタイ，カラ・ハーン朝，クタドグ・ビリク，クラビホ，莎車，サトゥグ・ボグラ・ハン，サマルカンド，サーマーン朝，サルト人，ジャダ石，シャー・ルフ，ジャマール・アッディーン，シルクロード，鄯善，タムガ，タルバガダイ，チャガタイ・ハン，チャガタイ・ハン國，中央アジア，ティムール，ティムール朝，東西交涉史，トルキスタン，トルコ（永田雄三氏と分擔執筆），ナクシュバンディー教團，ハザル族，バーブル，バルトリド，ホータン，バング，ペチェネグ，ヘラート，ホージャ家，ホラズム，マナス，マフムード・カシュガリー，マーワラーアンナフル，モグーリスターン・ハン國，ヤサウィー教團，耶律大石，ラードロフ

『事典　イスラームの都市性』　亞紀書房　1992年

中央アジア都市・總論，サマルカンド（ティムール帝國）

『新イスラム事典』　平凡社　2002年

アンカラの戰，オアシス，カラ・ハーン朝，サマルカンド，サーマーン朝，ジャマール・アッディーン，チャガタイ・ハーン國，チャガタイ語，中央アジア學，ティムール，ティムール朝，ナクシュバンディー教團，バーブル，ハザル族，ホジャ，ホラズム，マー・ワラー・アンナフル，ヤサヴィー教團

825

『岩波イスラーム辭典』　岩波書店　2002年

バーブル，『バーブル・ナーマ』，羽田明，ユースフ・ハース・ハージブ